

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リエブラツかみのやま（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2024年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47名	(回答者数) 38名
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2024年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	勉強会や研修が充実している。	社内、社外問わず各種様々な研修に参加する。	社内研修の充実化の提案し。研修への参加で知識を深め療育に役立てる。
2	個別療育を提供している。	ご利用者様一人一人に寄り添った支援を多職種連携して取り組んでいる。	引き続き、必要に応じて同時間帯のご利用者様で小集団を作り、他者との関わりを経験できる場を提供していくとともに、可能な範囲で年齢や特性が近いご利用者様同士の交流の機会を図っていく。
3	幅広い年代のご利用者様がいため、保護者懇談会で様々な経験談等の情報交換ができる。	保護者懇談会等の保護者同士の交流の機会を設ける。	アンケートの結果をもとに、困りごとやご希望のあったテーマでの保護者懇談会等を準備、開催していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご利用者様に中学、高校の生徒が少ないため、進学やその後の情報が少ない。	6年目の事業所のため、致し方ない。	児発、放デイ以外のサービスについての情報収集を行う。
2	他の放デイと併用しているご利用者様に関して、他放デイでの様子がわかりづらい。	他放デイとの情報交換の機会が少ない。	情報交換できる機会を作り、支援内容等を確認する。
3	実際の日常生活動作（身支度、食事、更衣、排泄等）の場面を見る機会が少ない。	50分の個別療育のため。	場面を想定した機会を活動の中に取り入れていく。